

ライムギ

緑肥用  
超極早生種

# ダッシュ

## 他品種との草丈比較



■播種：9月上旬 ■撮影：11月21日 ■左：ダッシュ ■右：ハルミドリ  
試験地：カネコ種苗(株)くにさだ育種農場

おとり植物としての効果で  
菌密度低減！

アブラナ科野菜の根こぶ病の菌密度低減効果があります。

出穂が早いので早期にすき込みができ、  
後作の作業に余裕が持てます。

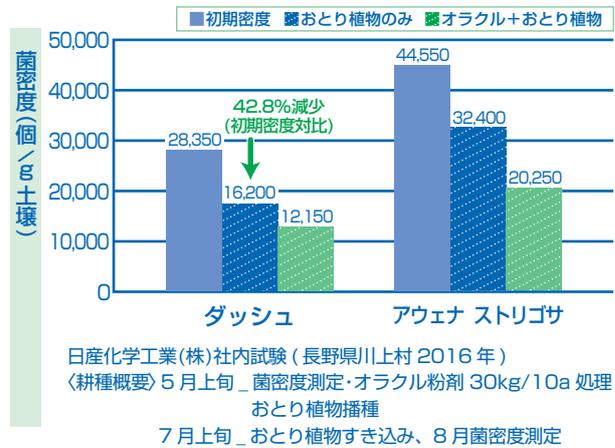
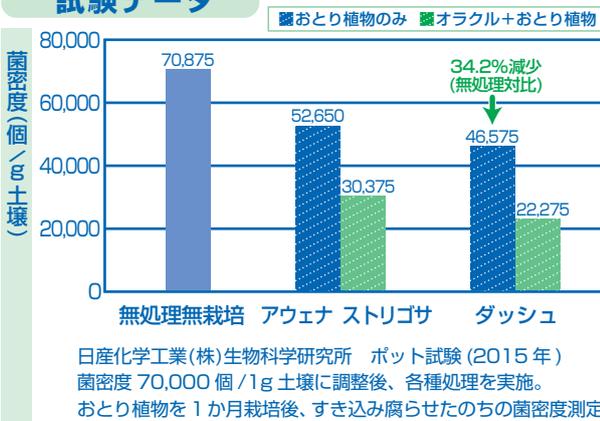
## 特 性

- 最も早生タイプの“超”極早生種です。極早生ライムギと比較し10日程度早く出穂します。
- 麦類の中で最も春先の出穂が早く、早期にすき込みができるので、後作の播種、定植が余裕を持って行えます。
- おとり植物としてアブラナ科野菜の根こぶ病の菌密度低減効果があります。
- エンバクよりも低温伸長性に優れるので、寒高冷地での年内すき込みでも多くの乾物量を得られ緑肥利用に最適です。
- ライムギの中では耐寒性、耐雪性がやや劣ります。寒高冷地での越冬利用は「クリーン」がお勧めです。

(オラクル(粉剤/顆粒水和剤)(日産化学工業株式会社)の同時処理でより高い菌密度低減効果が得られます。)

**注意** オラクル以外の根こぶ病殺菌剤を併用すると、おとり効果が期待できません。

### 試験データ



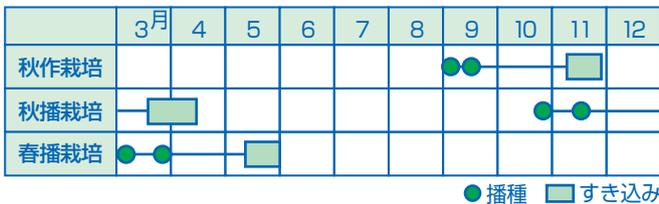
	発病株率 %	発病度 %
ダッシュのみ	30	10.0
アウエナ ストリゴサのみ	100	36.7
ダッシュ+オラクル	0	0.0
アウエナ ストリゴサ+オラクル	40	13.3
無処理	100	66.7

日産化学工業(株)社内試験(長野県川上村 2016年)  
(耕種概要)  
5月上旬\_菌密度測定・オラクル粉剤 30kg/10a 処理・おとり植物播種  
7月上旬\_おとり植物すき込み、8月菌密度測定  
8月上旬\_オラクル粉剤 30kg/10a 処理・白菜定植  
10月中旬\_根こぶ病調査

## 播種方法

- 播種量：8～10kg / 10a ブロードキャスター等で播種後、発芽を安定させる為ロータリーなどで覆土し鎮圧します。

### 作型表 関東標準



### 試験成績 秋作栽培

	出穂日	草丈 (cm)	生草量 (kg/10a)	乾物量 (kg/10a)
ダッシュ	11月11日	133	3,195	610
他品種 A	11月12日	129	2,978	590
ハルミドリ	—	66	2,790	460

カネコ種苗(株)くにさだ育種農場(群馬県伊勢崎市)9月上旬播種

※「アウエナ ストリゴサ」とは、これまで一般的に「えん麦 野生種」として表現したものと同意です。

お問い合わせは

**カネコ種苗株式会社**  
緑飼部

〒379-2131 群馬県前橋市西善町689-2  
TEL027(253)0561(代) FAX027(266)3221